

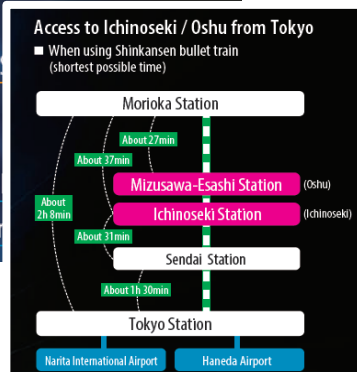
◆岩手県の特徴

(1) 広い国土岩手県は日本の北東部に位置し、面積は15,378km²で北海道に次いで2番目に広く、日本の総面積の4%を占める。

(2) おいしい農林水産物岩手県は、広大な農地や変化に富んだ気象など農業資源に恵まれているほか、リアス式海岸や三陸沖の漁場など、おいしい農林水産物にも恵まれている。

(3) 再生可能エネルギーポテンシャル岩手県は、陸上風力発電と地熱発電で全国2位、洋上風力発電で全国6位の再生可能エネルギー推定量を有しており、全国でも有数の地域資源を有している。

(4) 世界遺産岩手県には3つの世界遺産があり、奈良県、鹿児島県と並んで日本一である。また、早池峰神楽をはじめとするユネスコ無形文化遺産も豊富である。



北上山地がILCの候補地に選ばれた理由

2013年8月、日本の研究者で構成される「ILC建設候補地評価会議」は、岩手県と宮城県にまたがる北上山地を、技術的・社会環境的観点からILC建設候補地として最適と評価した。この結論は世界の研究者からも支持され、現在、日本では北上山地が唯一の候補地となっている。岩手県奥州市と宮城県気仙沼市にまたがるこの地域が候補地として評価された理由は、広大な花崗岩に活断層がなく岩盤が安定していること、東北の中核都市である仙台や大船渡港などの重要な港湾からのアクセスが容易であることなどが挙げられる。